

令和 7 年度

一 般 選 抜 （ I 期 ） 問 題

試験日 2月2日

国 語

試験開始までに下記の注意事項をよく読んでください。

注 意 事 項

- ① 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
- ② 開始の合図後、解答用紙に「氏名」、「個人番号」を記入すること。
- ③ 受験票、筆記用具以外は、机上に置かないこと。
- ④ 受験票は机上に貼付してある「個人番号」の手前に置くこと。
- ⑤ 記述解答で、字数の指定がある問題では句読点は1字として数えること。
- ⑥ 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
- ⑦ 試験中は退席しないこと。（気分が悪くなった場合は、手を挙げて監督者に知らせること）
- ⑧ 試験終了後、この問題冊子は持ち帰ること。

〔一〕 次の文章を読んで、後の問に答えなさい。

方言とは地域ごとのことばの相違で、音韻・語彙・語法などに違いがみられます。ただし、異なるとはいつでも別のことばといわれるほどには差が大きい場合があります。逆に言えば、時とともに方言がそれぞれの発達をみせて、互いに意思疎通ができなくなると、ある段階で「別な言語」となります。ア

日本の方言を区分けする方法（方言区画）にはさまざまな案があります。本土方言と琉球方言にわけるところまでは共通しています。ひとつの案として本土方言と琉球方言、本土方言は東日本方言と西日本方言、さらにわかれていく構造に描くものがあります。たとえば、津軽弁は東日本方言のなかの東北方言のなかの北奥羽方言のなかの一方言となります。北奥羽方言としては津軽弁・下北弁・南部弁（八戸弁・盛岡弁）・秋田弁・庄内弁（小国方言）・北越方言・大鳥方言・三面方言などがあるとされています。さらに、ここで同じ方言として分類されている地域でもより細かな方言の区分に出会うこともあります。「あの話し方は、○○地域の人だね」他地域の人からは、同じ方言に聞こえるものの、地域の人びとは20キロ程度しか離れていない地域固有の方言を検出できます。弘前と五所川原の人は互いに話すことばを聞いて、出身地を当てることができます。

ただし、方言区分そのものについては、学者によって分類が異なります。方言の分類は、それほど簡単ではないようです。

柳田國男は「カタツムリ」の名称が地域ごとにどう変化するかを調べ、方言圏論を提出しました。話や音などの要素が文化的中心地から同心円状に伝播したもので、外部地域には古い語が残っているとスイソクし、方言区画自体を否定しました。また、「探偵！ナイトスクープ」（朝日放送）の企画から全国アホ・バカ分布図がつくれ、「アホ」「バカ」の表現が同心円上の広がりを示すことが明らかにされています。ただし、これについては、異論もあるようです。

方言は基本的には、Aとして日常生活のなかで使われることがほとんどです。私的文書や文学作品・絵本などにおいて意図的に方言を使用することはあるものの、公的な文書はほとんどの場合、共通語といわれるもので書かれます。方言の要素としては、語彙・語法などありますが、文章として表現される場合、音韻などの音声的特徴のいくつかは失われます。方言で書かれた文章を読んだだけでは方言のもつリズムまでは捉えられません。イよく朝ドラのヒロインが方言の習得に苦労するといわれますが、文字としては記載できない音声的特徴が、方言をより方言らしく規定している部分があるせいです。

また、方言は、同地域のすべての人びとが同じように用いているわけではありません。年齢層によって使用する方言はかなりかわってきます。同じ地域で生活していても、「ばあちゃんの言うことはよくわからない」と言う若者もいます。そう言っている学生も、他地域出身の私からすれば十分立派な方言話者にみえます。

方言の特徴として、他地域とは異なる音韻・語彙・語法（または文法）という話をしました。音韻とは、東北地方でシとス、チとツの発音に区別がなくなることなどを想像するとわかりやすいでしょう。また、語彙については、今回の調査で用いたように津軽地方を例にあげれば、「だめだ」が「まいね」、一人称の「わ」などが含まれます。ウ語法あるいは文法についてはどのようなものでしょうか。動詞の活用が変化する場合もあります。たとえば「かる（買う）」「青森」、「起きらん（起きない）」「沖縄」などがあります。動詞につく接辞などにも見られます。東日本では、否定形は「B形＋ない・ねー」ですので「食べない・食べねー」、しかし西日本や沖縄では「食べる」となります。その意味では、弘前において「語彙」調査として実施したもののなかに、正確には文法に属するものも含まれます。また、先にも述べたように発音も含まれています（あがい／赤い）。

後に方言について調べるようになって知ることになるのですが、津軽地方の小学校では教科書を読むときに、発音・アクセント・イントネーションを共通語的に読むように矯正されていたそうです。津軽弁風の「わだしは」は、共通語風の「ワタシハ」に、「がっこ（学校）」は「ガッコウ」というように。そのため、津軽の子どもたちは、普段は津軽弁

風の発音・アクセント・イントネーションで話していても教科書を読むときには、共通語風に話すこともできます。ところが、関西から来た学生に聞くと、「そんなことはない。たしかに教科書は共通語で書かれているが、アクセントやイントネーションは関西風に読んでいたし、矯正された記憶はない」と言いました。

むかしは、東北や九州では学校で方言を話すと方言札というものを首にかけさせられ、他の子どもが方言を話すまで外すことができないという制度がありました。一部の地域ではこのような形での標準語教育がおこなわれていました。

方言とタイチすること^(b)とばとして、共通語あるいは標準語といわれるものがあります。共通語というのは、方言が異なる地域の人びとが互いに意思疎通できるようにしたことです。少しぐらいアクセントや発音に差があってもあまり気にしない。ともかく互いに通じ合うことが大切になります。

共通語（全国共通語）と標準語は違うのでしょうか。社会通念的には、「全国どこでも通じることば」としてこの二つは同じ意味で使われています。

エ 標準語は「全国どこでも通じることば」であることに加えて、規範的で理想的なことばという意味が含まれます。場合によっては、そのことばを使うことが強制力をともないます。つまり、共通語が、方言の異なる人びとが互いに意思疎通できるように使うことばなのに対して、標準語は、国などが公的に強制力をもつて定めたものという違いがあります。現在は、方言の再評価の動きや、国があることばを「標準」とすることについて疑問がだされるようになり、共通語という表現が一般的になってきています。

佐藤（1999）は、日本人の最近100年の言語意識の変遷について、大きく分けると前半は国家統一のための50年、後半は第二次世界大戦以後の国家成長のための50年だと述べています。1902年には国語調査委員会が設置され1903年に調査がおこなわれています。その調査方針には、「方言を調査して標準語を選定する」という項目があり、国が標準語を定めて、それを日本中で話せるようにするという方向性が打ち出されています。そのなかで、明治から昭

和初期にかけては東京山の手の教養層が使っていたことばを標準語にという動きがありました。

現在、標準語を^(c)「テイギする機関や団体はないので、公的に標準語といわれるものはありません。しかし、一般的に「標準語」といわれると東京で使われていることばを指すとなっています。すなわち、私たちが「標準語」といつているものも東京方言あるいは首都圏方言ということが出来ます。文化的・歴史的・経済的・政治的背景が、東京方言を「標準語」たらしめていると考えるのがよいようです。

また、方言と共通語、どちらかしか話せないという人は今時少ないでしょう。ほとんどの人は、相手や場面によって方言と共通語を使い分けます。私が教育相談をしていると、それまで共通語で話していたお母さんが、^(d)「ケイタイ電話に出た^(e)トタン」に見事な津軽弁で話し始める、という場面に出会うことがよくあります。

○ 実際には、方言と共通語は、方言を使う地域（方言主流社会）においても混在して使用されています。「津軽弁と共通語のバイリンガル」という冗談があります。よほどご年配の方を除けば親しい人との会話が方言でも、場面によって共通語を使いこなすことができます。

方言と共通語の使い分けは、単語（語彙）だけでなく、発音においても起きているという国立国語研究所の報告があります。鶴岡市においておこなわれた方言調査で、ネコの絵をみせて名前を言わせるものです。鶴岡弁では「ネゴ」というそうです。このとき、「ネゴ」と回答した人は3%にとどまり1950年の調査の63%から激減したそうです。ところが、同じ絵をみせて「鶴岡弁らしく発音して」と求めたところ、88%が鶴岡弁風（ネゴ）に発音できたということでした。

方言が少なくなっているようにみえても、潜在的にはなお残っているようです。その意味では、「ことばが違う相手とも意思を交わし合うための^(c)」が浸透してきたともいえるかもしれません。

（松本敏治『自閉症は津軽弁を話さない』による）

問1 傍線部(a)～(e)の片仮名を漢字に直しなさい。

問2 本文中の空欄 A に当てはまる言葉として最も適当なものを次のア～オの中から選び、記号で答えなさい。

ア 枕詞 イ 重ね言葉 ウ 訛り言葉 エ 話し言葉 オ 書き言葉

問3 本文中の空欄 B に当てはまる言葉として最も適当なものを次のア～カの中から選び、記号で答えなさい。

ア 未然 イ 連用 ウ 終止 エ 連体 オ 仮定 カ 命令

問4 本文中の空欄 C に当てはまる言葉を三字以内で答えなさい。

問5 次の文を挿入するのに最も適切な箇所は本文中の空欄ア～オのうちどこか、記号で答えなさい。

しかし、学術的にはこの二つは厳密に区別されています。

問6 波線部について、「このような形で標準語教育」が行われた理由を説明した以下の文を読み、以下の問いに答えなさい。

Xを目的として、Yな言葉をつくり広める必要があったから。

(1) 空欄 X に当てはまる言葉を本文中から五字以内で抜き出して答えなさい。

(2) 空欄 Y に当てはまる言葉を二十字以内で答えなさい。

問7 本文の内容として正しいものを次のア～オの中から選び、記号で答えなさい。

- ア 方言の使用は地域や個人によって異なり、同じ地域内でも異なる方言が使用されることがある。
- イ 共通語と方言の違いは主に語彙にあり、音韻や語法に関しては共通語と方言で大きな違いはない。
- ウ 共通語のアクセントとイントネーションは全ての地域で共通しており、地方ごとの違いはない。
- エ 方言札の制度が実施されたことにより、東北や九州では方言の使用が完全に抑制された。
- オ 現代では方言の消滅が進んでおり、若者は方言を使わず共通語のみを話す傾向がある。

〔二〕 次の文章を読んで、後の問に答えなさい。

他の人にできないことができる人たちを私たちは「独創的」「創造的」と称賛し、「天才」はそういうことができる人だというイメージを持つ。他方、「天才」というと生まれながらの天賦の才能を持ち、努力せずに人ができない独創性、創造性を持つる人のこと、というイメージも持ちがちだ。

しかし考えてみると、超一流の達人^(x)の創造性のあり方は分野によってずいぶん違う。美術などでは過去になかったスタイルが創造的であると言われる。科学では、まだだれも先人が発見していなかったことを発見した人を偉大で創造的な科学者という。しかし音楽演奏、バレエ、能などのパフォーマンスアートでは、長い間何千、何万というアーティストが同じ楽曲やプログラムを演奏、演技し続けている。このような分野では、楽曲の譜や指示に対して忠実でありながら、自分なりの解釈、自分なりの表現を探究し、自分のスタイルを作り上げることが求められ、自分独自のスタイルが「創造的」であると評価される。

創造性はもちろん芸術や科学の分野に限るものではない。スポーツにおいても、ビジネスにおいても、他の人には真似のできない自分独自のスタイルですぐれた判断、パフォーマンスをすることができ人は創造的な人である。

このように考えると、創造性は特別な才能を持った人が特別な分野で示す特別な能力ではなく、状況に合わせて自分独自のスタイルで問題を解決できる能力に他ならない。熟達者の最大の特徴は臨機応変であることである。創造性は臨機応変であることの延長線上にある。

NHKの「プロフェッショナル——仕事の流儀」というテレビ番組に出演する人たちは、みな非常に創造的な熟達者ばかりだ。例えば、ある回では、クレーンでコンテナを船に積む作業を行う、通称「ガンマン」と呼ばれる職業で

A 出た存在の人を紹介していた。ガントリークレーンという超大型の特殊なクレーンで何トンもの鉄の箱である

コンテナをトレーラーから一つ一つワイヤーでつるし上げ、船の指定の場所に積み込んでいく。クレーンの操作をする場所は高さ五〇メートルの場所にある。床はガラス張りで、そこから五〇メートル下の船底を見ながら積み下ろし先にコンテナを積んでいく。

この番組で紹介されていた達人は、世界平均の一・五倍の速さでコンテナを積むことができ、しかも、着地の時の衝撃を最小限にするためにコンテナを着地直前の空中でピタリと止め、そこからゆっくりと下ろしていくという、他の人にはできない技を持っている。番組中で最も印象的だったのは、思わぬ事態に見舞われた時の対処のしかただった。ある時、コンテナをつるすワイヤーの長さを調節する機器に不具合が起こり、コンテナが傾いてしまった。コンテナを元の位置に戻すこともできず、傾いたままでは船に下ろすこともできず、前にも後ろにも進めない状況になってしまった。その中で、コンテナを水平に戻すために、コンテナを壁に当てて揺らしてみたり、角のひとつをレールに当てながら、レバーで揺れを制御してみたりして、なんとかコンテナを水平にし、とうとうそのコンテナを船に納めることができた。

このような B な対処は、まさに熟練^(Y)をベースにした創造的な問題解決⁽²⁾そのものだ。長年の熟練により、いつもと違う状況で、いつもと同じことが通じないときに、他の人たちがうモノの見方、捉え方ができ、別の対応を考えることができるのだ。逆に言うと、何もないところから一気にまったく新しいものを生む創造性は存在しない。実際、多くの分野において創造的なパフォーマンスというのは、まったく存在しない要素を創り出すことではなく、すでに存在する要素をいままでにないやり方で組み合わせることから生まれるのである。

熟達者にはあることが素早く正確に安定してできるというレベルで留まるタイプと、それを打ち破り、常に新たな境地を求めるタイプがいる。その分野で超一流と目されている人たちはマンネリになることがもつとも我慢できないことであり、常にブレークスルーを目指している。自分の時代に存在する最高の技術や知識を体に叩き込んだ上で自分

の現状に課題を見つけ、自分なりのしかたで現状を乗り越え、向上を目指した結果として創造的と人が認めるパフォーマンスが可能になるのである。

葛飾北斎が死に際^(d)に残したことばは、「もう一〇年、いや五年の命を与えてくれたら、まことの絵師になれただろうに」だったそうである。北斎は七〇歳を過ぎて「富嶽三十六景」を完成させたときのあとがきにこのように書き残しているそうだ。

七〇歳以前に書いたものはまったく取るに C もの

七三歳で鳥やけもの、魚の骨格の何たるかをいくらかは悟ることができた

このまま修行をつづけていれば一〇〇歳^(e)で神妙^(e)の域に達することができらるう

一一〇歳までつづけられれば一点一画が生きているもののように描けるようになる

真に創造的な人たちは向上することへの挑戦を止めない人たちである。「創造性」は天から降ってくるものではない。

（今井むつみ『学びとは何か——〈探究人〉になるために』による）

問1 傍線部(a)～(e)の漢字の読みを平仮名に直しなさい。

問2 空欄

A

 ・

C

 に当てはまる言葉の正しい組み合わせのものを、次のア～カから一つ選び、記号で答えなさい。

ア	A	名乗り	―	C	足らない
イ	A	抜きん	―	C	由ない
ウ	A	飛び	―	C	詮ない
エ	A	名乗り	―	C	由ない
オ	A	抜きん	―	C	足らない
カ	A	飛び	―	C	足らない

問3 空欄

B

 に当てはまる言葉を、本文中から抜き出して答えなさい。

問4 傍線部(X)・(Y)の言葉の対義語をそれぞれ答えなさい。

問5 傍線部(1)「状況に合わせて自分独自のスタイルで問題を解決できる」とあるが、この内容をより具体的に述べている箇所を本文中から六十字程度で抜き出し、その始めと終わりの五文字を答えなさい。

問6 傍線部②「創造的な問題解決」とあるが、ここでの具体例ではどのようなことが「創造的」なのか。当てはまるものをア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア コンテナを着地直前で止め、ゆっくりと下ろすことができること。

イ 様々な方法を駆使して傾いたコンテナを水平にし、船に積むことができること。

ウ 世界平均の一・五倍の速さでコンテナを船に積むことができること。

エ 機器の不具合によりコンテナが傾いた際に、元の位置に戻すことができること。

問7 傍線部③「マンネリ」と同種の言葉をア～オから一つ選び、記号で答えなさい。

ア マンション イ レンタル ウ エアコン エ リスク オ パン

問8 「創造性」について、本文に書かれた内容と合っていないものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア 思わぬ事態が起きても、素早く正確に対処できることが創造的ということである。

イ 創造性とは、芸術や科学の分野に限定されず、様々な分野において存在する。

ウ 創造性は、常に向上心を持ち、挑戦し続けることによって生まれる。

エ 既存の要素をいままでにないやり方で組み合わせることで創造性は生まれる。

以下余白